

(様式例第11)

獨医大日管（庶）発第40号  
令和4年10月 5日

栃木県知事  
福田 富 一 殿

住 所 埼玉県草加市学園町1番1号  
申請者  
氏 名 学校法人獨協学園  
理事長 吉田 謙一郎 印

獨協医科大学日光医療センターの地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒340-0042 埼玉県草加市学園町1番1号
氏名	学校法人獨協学園 理事長 吉田 謙一郎

（注）開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

獨協医科大学日光医療センター
----------------

3 所在の場所

〒321-2593 栃木県日光市高德632	電話（0288）76-1515
-----------------------	-----------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	199床	199床

## 5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 0床 (重傷者等療養環境特別加算病床6床有)
化学検査室	生化学分析装置BM9130、検体前処理モジュールシステム LabFLEX3500、冷蔵庫、超低温フリーザー、血液凝固分析装置CS-1600、血液ガス分析装置ABL90FLEX、免疫発光測定装置 (主な設備) ルミパルスG1200、全自動尿分析装置US-3500、全自動輸血検査装置ECHO Lumena、輸血管理システム等
細菌検査室	血液培養自動分析装置BACTEC FX TOP、全自動遺伝子解析装置FilmArray、遺伝子検査機器GENCUBE、蛍光顕微鏡、 (主な設備) 日立安全キャビネット、インキュベーターIC-300PA
病理検査室	卓上型遠心機、自動細胞収集装置、顕微鏡用デジタルカメラ (主な設備) 自動染色装置、全自動免疫染色装置、密閉式自動固定包埋装置、パラフィン包埋ブロック作成装置、恒温槽、ミクロトーム
病理解剖室	(主な設備) 体重計付ストレッチャー、電動のこぎり、吸引器、冷蔵庫
研究室	(主な設備) インターネットパソコン、電子カルテ・オーダーリングパソコン
講義室	室数 4室 収容定員 No1会議室:190人、No2会議室:20人、 シミュレーション室:20人 カンファレンス室:20人
図書室	室数 1室 蔵書数 7,000冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) ストレッチャー、酸素ボンベ 保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積28.76㎡ [共用室の場合] —

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

（様式例第 12）他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率		65.1%	算定 期間	2021年 4月 1日～ 2022年 3月 31日	
地域医療支援病院 逆紹介率		43.1%			
算出 根拠	A：紹介患者の数			3,031人	
	B：初診患者の数			4,658人	
	C：逆紹介患者の数			2,007人	

（注） 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

（注） 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

（注） 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第 13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

[illegible]

	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	平日8:50～17:00 土曜8:50～14:00	専門業務型裁量 労働制
	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	平日8:50～17:00 土曜8:50～14:00	専門業務型裁量 労働制
	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	平日8:50～17:00 土曜8:50～14:00	専門業務型裁量 労働制
	医師		常勤 非常勤	専従 非専従	平日8:50～17:00 土曜8:50～14:00	専門業務型裁量 労働制

## 2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	6床
専用病床	0床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

## 3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急処置室	27.73㎡	(主な設備) 1室 多機能心電計、 超音波診断装置、体温管理システム	可能
手術室	138.32㎡	(主な設備) 3室 外科用X線Cアーム装置	可能
C T 撮影室	57.60㎡	(主な設備) 1室 キャノンメディカルシステムズ 全身用X線CT装置 Aquilion Prime SP	可能
M R I 撮影室	76.05㎡	(主な設備) 2室 東芝1.5TMRIシステム EXCELART Vantage PHILIPS Ingenia CX1.5T	可能
透視撮影室	68.83㎡	(主な設備) 2室 HITACHI CUREVISTA17	可能
血管撮影室	105.48㎡	(主な設備) 2室 東芝血管造影システム Infinix Celeve - i ×2	可能
内視鏡検査室	51.43㎡	(主な設備) ファイバー、レーザー 内視鏡、オリンパス内視鏡システム	可能

## 4 備考

<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急病院等を定める省令に基づき県知事の救急病院の認定を受けている病院</li> <li>・救急告示病院、二次救急病院群輪番制参加</li> <li>・急性心筋梗塞・不安定狭心症に24時間365日直接専門医が対応する「循環器ホットライン」体制あり。</li> </ul>
--

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。  
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院

の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

#### 5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	1,443人 ( 800人)
上記以外の救急患者の数	1,748人 ( 263人)
合計	3,191人 ( 1,063人)

（注）それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

#### 6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

（様式例第 14）地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

#### 1 共同利用の実績

C T                      9 4 件  
M R I                    6 8 件  
内視鏡検査            5 0 件  
超音波検査            7 0 件  
会議室、図書室        0 件

共同利用を行った医療機関数        1 6 7 件  
共同利用を行った医療機関延べ数    3 1 3 件  
（うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数 3 0 2 件）

（注） 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

#### 2 共同利用の範囲等

コンピューター断層診断（C T）  
磁気共鳴コンピューター断層診断（M R I）  
上部・下部内視鏡検査  
超音波検査  
会議室  
図書室  
共同利用連携ベッド

（注） 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

#### 3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ 有 ☐ 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名：

職 種：地域連携・入退院支援センター

（注） 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

#### 4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開 設 者 名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙「登録医療機関名簿」参照				

注 当該病院と同一の 2 次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	6 床
--------------	-----

(様式例第 15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

### 1 研修の内容

別紙参照
------

### 2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	14回
(2) (1) の合計研修者数	549人 (内院外の方：268名)

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

### 3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 ☒ 有 ☐ 無

イ 研修委員会設置の有無 ☒ 有 ☐ 無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
	医師	心臓・血管・腎臓内科	病院長	35年	教育責任者
	医師	呼吸器内科	教授	39年	
	医師	麻酔科	教授	39年	
	医師	整形外科	教授	35年	
	医師	脊椎センター	教授	30年	
	医師	呼吸器内科	教授	42年	
	医師	糖尿病・内分泌内科	教授	39年	



	医師	外科	教授	27年	
	医師	循環器内科	教授	32年	
	医師	消化器内科	准教授	22年	
	医師	循環器内科	教授	32年	
	看護師		師長	32年	
	看護師		師長	24年	看護部教育委員長
	看護師		師長	39年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

#### 4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
会議室	175.48㎡	(主な設備) N o 1 会議室、N o 2 会議室 放送設備、スクリーン、プロジェクター、パソコン、モニター、電子カルテ
教育シミュレーション室	76.15㎡	(主な設備) 筋肉注射モデル 縫合手技評価シミュレーター CVC穿刺挿入シミュレーター レサシアン全身スキルレポーターモデル 採血・静注・皮肉注射シミュレーター 吸引シミュレーター 看護実習モデル人形(ともこさん) 口腔ケアモデル「セイケツくん」 セイケツくん 歯ブラシセット 電子カルテ パソコン、モニター
カンファレンス室	46.80㎡	(主な設備) プロジェクター
	㎡	(主な設備)
	㎡	(主な設備)

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	
管理担当者氏名	診療情報管理室 事務員（診療情報管理士）

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		担当部署	病院日誌：事務部管理課 各科診療日誌：各診療科 処方せん：システム内保存 手術記録：手術部 看護記録：システム内保存 検査所見記録：システム内保存 エックス線写真：システム内保存 紹介状：診療情報管理室 入院中の経過記録：システム内保存
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	担当部署	医療機器：診療情報管理室・医事課 施設関係：管理課
	救急医療の提供の実績	医事課	救急患者一覧表
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	担当部署	医局関係：各医局 施設関係：管理課
	閲覧実績	管理課	閲覧実績表
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	医事課	紹介状：現物保管、システム保管 逆紹介状：現物保管、システム保管

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	副院長
閲覧担当者氏名	医事課課長補佐
閲覧の求めに応じる場所	医事課
閲覧の手続の概要	
別添「日光医療センターにおける診療情報提供フローチャート」のとおり	

前年度の総閲覧件数		0 件
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

(様式例第 18)      委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1 回	
委員会における議論の概要		
<div>委員会開催日</div> <div>・ 令和 4 年 3 月 2 4 日（木）    第 4 回地域医療支援病院運営委員会開催。</div> <div>議論の概要</div> <div>・ 別添議事録参照</div>		

(注)    委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第 19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他( ) 電話 ( )
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	看護師 7 名 社会福祉士 3 名 事務 3 名
患者相談件数	(令和3年4月～令和4年3月) 30,475件 内新規ケース897件
患者相談の概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院支援について</li> <li>・転院について</li> <li>・在宅療養・在宅医療について</li> <li>・医療費、経済的問題について</li> <li>・医療内容、治療内容について</li> <li>・介護保険について</li> <li>・他院からの入院について</li> <li>・当院診療科の受診について</li> <li>・行政・福祉の問題について</li> <li>・緊急時の受入等について</li> <li>・情報提供について</li> <li>・地域連携の活動内容について</li> </ul>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 、 2017年2月3日（初回認定） 2022年2月3日（認定2回目）	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ○ホームページ上のお知らせへ掲載 ○日光医療センター通信を年4回発行し、地域住民等へ当センターの取組み、各部署特色、イベント・講演会等を周知している。	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・ 退院調整部門の概要 別紙参照	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・ 地域医療連携推進法人日光ヘルスケアネットへの参加 ヘルスケアネットにて立ち上げた下記ワーキンググループ会議にて参加医療機関と連携を図り種々検討している ・ 入退院調整機能検討WG ・ クリティカルパス導入検討WG ・ 介護施設への患者紹介検討WG ・ 医療機器共同利用検討WG（別添「日光ヘルスケアネット共同利用の手引き」参照）	

- ・ 策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容
  - ① 大腿骨頸部骨折地域連携クリティカルパス（別紙参照）
  - ② 脳卒中地域連携クリティカルパス（別紙参照）
- ・ 冠動脈スクリーニング検査の実施（別紙参照）
- ・ 多施設でつながる地域医療を考える会の開催（別紙参照）